

			<p>2. 法律や条例、規則が守られるまちづくりについて</p> <p>(1) 令和5年6月と7月の市職員と教職員の小・中別超過勤務の実態（勤務日数、45時間以上、80時間以上、100時間以上の人数）について伺う。また、本年度の超勤実態について5人の教育委員会や校長会、総括健康管理委員会での縮減策論議を伺う。</p> <p>(2) 第2次うきは市特定事業主行動計画に基づく、超過勤務の多い教職員のワーク・ライフ・バランスについて伺う。</p> <p>3. 若者やお年寄りが住みやすいまちづくりについて</p> <p>(1) 夏季休業中の小学校プール開放について、子ども基本法に基づき子どもたちの意見を聴取・反映したのか伺う。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
<p>3</p>	<p>1</p>	<p>権藤英樹議員</p>	<p>1. うきは市立自動車学校の今後の活用について</p> <p>(1) 全国的に希少な公立自動車学校であるメリットをいかし、地域の若者の免許取得のみならず、両筑地域広範の高齢者講習を受け入れることができる自動車学校として整備・活用すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>2. 公立保育所の民営化促進と機能的特性を持たせた公立保育施設の維持について</p> <p>(1) 本市の公立保育所の現状と課題について伺う。</p> <p>(2) 公立保育所民営化の進捗と課題について伺うとともに、うきは市公共施設等総合管理計画等も踏まえた今後の保育施設集約化についての見解を伺う。</p> <p>(3) 昨年度、民間保育所で一時預かり保育ができなくなった際に公立保育所が代替えで一時保育を行った。今後、民営化を進めるに際して、そうした民間保育所の補完や、需要が高まる障がい児保育や統合保育、現状本市に整備されていない病児・病後児保育などに対応し、地域の保育サービスの維持・向上を図る公立の保育施設は一定必要であると考えますが、市長の見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長 市長</p> <p>市長</p>

質問 順	議席 番号	質問者	質問事項・質問の要旨	質問の 相手
5	4	樋口 隆三 議員	<p>1、男性版産休制度（出生時育児休業）について</p> <p>(1) 昨年10月1日から今年9月30日までの期間（1年間）での男性版産休制度の取得状況及び推進率を伺う。</p> <p>(2) 昨年10月から4年度中に13%を達成し、令和7年度までに目標30%を達成するとの答弁を頂いたが、取り組んだ結果と、取り組み内容の総括を伺う。</p> <p>(3) 「男性版産休制度」の今後の推進目標値の設定及び今後の取り組みに対する見解を伺う。</p>	市長
			<p>2、自主防災組織の編成について</p> <p>(1) 各行政区で編成された自主防災組織の組織率は現在、何パーセントか伺う。また、編成に向けた区長に対しての協力要請等が行われているのか伺う。</p>	市長
			<p>3、投票時における「投票支援カード」等の活用について</p> <p>(1) うきは市においても導入を検討してはどうか、市長の見解を伺う。</p>	市長
			<p>4、軟骨伝導イヤホンの導入について</p> <p>(1) 市役所に来られた耳の不自由な市民との対話が円滑にできるよう、窓口に「軟骨伝導イヤホン」を導入し、市民サービスの向上を図ってはどうか、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) ①市内に住所を有する65歳以上で、②聴覚障がいによる身体障害者手帳の対象でない、③耳鼻科の医師が補聴器の必要性を認めている、④過去に助成を受けていない、の全ての条件を満たしている人に対し、厚生労働省が認定する補聴器の購入に上限3万円を助成する施策を行ってはどうか見解を伺う。</p> <p>(3) 必要な財源は、過疎対策事業債充当事業で実施できないか伺う。</p>	市長

